愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校　地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立１１６年　奄美市立崎原小中学校　学校だより　令和７年１月号

令和6年1月31日発行

令和6年度児童生徒会スローガン

切磋琢磨

―ひとりじゃない。
みんな誰かの応援団！―

自分に嫌われない生き方

崎原小中学校 校長 鑪 謙治

今回は『自分に嫌われない生き方（谷口たかひさ著 KADOKAWA）』から一部抜粋して書かせていただきます。

環境活動家の谷口たかひさんは、毎日無数に繰り返す判断を、どちらを選べば自分のことを好きでいられるかで決めているそうです。それは、人生でもっとも大切なのは「自分を好きでいる」ことだという信念があるから。そんな谷口さんがヨーロッパのある教育機関を訪問したときに「日本では、義務は教えるが、権利は教えない」と教えてもらったそうです。日本では、物心ついてからというもの、家庭でも、学校でも、社会でも①やらないといけないこと（あぁしなさい）②やってはいけないこと（あれはダメ！）の2つばかりを言われ続けます。そうすると、その人の脳は「義務脳」という頭の半分が「やらないといけないこと」で、残りの半分も「やってはいけないこと」でいっぱいいっぱいになり、とても生きづらくなるそうです。いわば、「減点方式」。→自信を奪っていく。

一方でヨーロッパは、「権利」をとても大切にするといいます。「やっていい（やらなくてもいい）」あなたの人生はあなたのもの。義務を果たすために生きているロボットではないのだから。いわば、「加点方式」。→自信を積み重ねていく。

日本には、「義務」で自分のことを縛りつけて生きていく人がとても多いように思えます。自分の「自由」と「権利」を尊重し、他の人ともお互いの「自由」と「権利」を尊重し合い、ありたい自分であろうとすることが大切です。

しかしながら、学校ではどうでしょうか。学習も普段の生活も先生が指導。しかも「やるべきこと」が多すぎます。それが、学習指導要領の改訂により、児童生徒が自己選択・自己決定をしていくようになりました。我々が学生時代にあった教師が指導しやすいように、都合がいいように作られた校則も現在大幅な変更が行われています。しかも、その校則は生徒の考えが含まれてないと成り立たないようになってきました。そんな甘いことを言っていたら、子供は楽な方や間違った方に進むのではないかと危惧される方もいらっしゃると思います。しかし、本校も子供たちに聞きながら生活のきまりを見直してきましたが、ある子供が１人で決めるわけではありませんから、とんでもない方向には進んでいきません。むしろ、自分たちで決めたのだからとルールを守る姿が見られるようになりました。

本校では、学習においてもこの「自己選択・自己決定」を取り入れています。教師は、これまで教え込ませる立場でした。できなければ、できるまで繰り返し指導する。しかし、本当に力が付いたのでしょうか。確かに一部の子供たちには力が付いたでしょう。しかし、私のように少しひねくれた子たちは「何でこんなにやりたくない教科を勉強するんだろう」となり、その教科が少しずつ嫌いになり、その後の人生に悪い影響を与えてしまいました。しかし、数学は好きでしたので、数学だけはどんどん力が付きました。私の場合、部活動も同じような結果でした。中学時代は陸上部で中・長距離を走っていましたが、毎日のタイムトライアルがとにかく嫌でした。調子が悪い日は、走る前にタイムが出ないことが分かります。それなのにタイムトライアルをしなければならないことに納得がいかない中走っていました。本当はタイムトライアルは権利のはずであって義務ではありません。そうやってあれだけ走ることが好きだった私は、走ることが大嫌いになりました。

このようにやるのが当たり前。やらせるのが当たり前の時代は終わりました。今からは、子供たちが自分の権利で学んだり、運動したりする時代です。学んだり、運動したりしないのは親のせいでも教師のせいでもなく、子供たち一人一人の責任です。少し冷たいように聞こえるかもしれませんが、大人は子供が困ったときに相談にのる程度です。小学生を担任していると、忘れ物をした言い訳で「お母さんがランドセルに入れてくれなかったから」という子がいます。それは、単に人のせいです。いつまでも人のせいにするばかりの大人もいますが、それはまさに義務脳になってしまったからだと思います。自分のことは自分で決める。その決めたことをちゃんと守れたときにその子の「自信」につながるのだと思います。

三　学　期　始　業　式

３学期が始まりました。3学期のスタートは、小学部は岩越柚妃さん、中学部は藤井亜衣さんが代表してスピーチをしてくれました。特に亜衣さんは、今年は受験ということもあり、受検へ向けての決意を話してくれました。3月の初めには全員の結果が分かります。全員に桜の花が咲くことを期待しています。

ふるさと奉仕作業

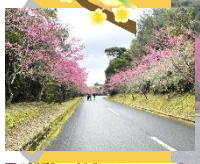
１月10日は、ふるさと奉仕作業を行いました。上部校庭付近や集会所、市営住宅前付近を清掃しました。子供たちの口から「いつもお世話になっている地域の皆さんのためにも」という言葉が自然と出てくるのも崎原のよさだと思います。

血液教室

１月21日は、中学校授業で血液教室を行いました。血液の健康は、生活習慣が大事なことを教えていただきました。また、16歳から献血ができるということで興味をもった子もいたようです。最近血液不足だとテレビで報道されていました。皆さんも血液が健康のうちに献血に行ってみませんか？

桜　通　り　歩　こ　う　会

２月２日は、毎年恒例の桜通り歩こう会でした。今年もたくさんの方々が参加していただきました。中学生が作成した桜通りの看板も無事設置され、今後はその看板の前で記念撮影される方々が増えると思います。心配されていた雨も降らず、とてもいい歩こう会となりました。



鬼は外　福は内

２月３日、小学部は節分の豆まきを行いました。心の鬼を追い払えと言うことで、子供たちは様々な鬼をイメージして書いていました。そこへ、サプライズで鬼が登場。みんなで鬼退治が始まりました。鬼は外！福は内！今年も無病息災でいい年になりますように！

2月の主な行事

１０日（月）学年末テスト（中、～13日）

１４日（金）お別れ遠足

２０日（木）授業参観・学級PTA・学校保健委員会

3月の主な行事

５日（水）公立高校入試（～６日）

１２日（水）卒業式

２５日（火）修了式